

# 「がん検診のあり方に関する検討会」 の今後の進め方(案)

## 第1回 (5月28日)

- ・がん検診の現状
- ・がん検診に関する最近の知見
- ・構成員よりヒアリング
- ・今後の検討会の進め方について

## 第2回以降

(検診項目について)

- ・子宮頸がん(HPV検査)
- ・胃がん(ヘリコバクター抗体検査・ペプシノゲン検査、内視鏡検査)
- ・肺がん(CT検査)
- ・大腸がん(内視鏡検査等)
- ・前立腺がん(PSA)
- ・乳がん(エコー、視触診、デジタルマンモグラフィ等)

※検討の順番については、すでにいくつかの研究結果や海外のガイドライン等が公表されている子宮頸がんについて先に検討してはどうか。

※さらに、多くの自治体で、内視鏡など指針以外の方法でがん検診を実施している、胃がんについても、知見を整理した上で、検討を進めるべきではないか。

※各がん種について関係学会の推薦者に検討会に参画いただくよう依頼してはどうか。

※各がん種について、それぞれ2-4回を目安に結論を得るよう進めてはどうか。

(受診率向上施策について)

・平成25年度でクーポン事業が5年経過することから、クーポン事業の検証や継続の可否も含めて検討を行う。

- ・市町村、県、企業の取組のヒアリング。
- ・受診率向上に関する研究結果の報告等。

(精度管理について)

- ・市町村、県、企業の取組のヒアリング。
- ・精度管理に関する研究結果の報告等。
- ・検討結果を踏まえ、指針に反映する。